

■科目の基本情報

・科目番号	01EG951・952・961・962・971・972
・授業科目名	感性認知脳科学研究法1A・1B・2A・2B・1S・2S
・授業形態	2(演習)
・標準履修年次	1・2年次
・開設学期	01EG951・952:春ABC, 01EG961・962:秋ABC, 01EG971, 972:通年
・曜時限等	各教員に確認
・教室	各教員に確認
・単位数	各1.5

■担当教員等

・担当教員名	感性認知脳科学専攻前期全教員
・ティーチングフェロー(TF)	N/A
・ティーチングアシスタント(TA)	N/A
・オフィスアワー等(連絡先含む)	各教員に確認

■受講によって得られる知識・能力等

・教育目標との関連

人間の感性やこころと脳機能とを関連づけようとする基礎研究にとって、専門領域の研究法、最先端の研究動向、研究成果発表の方法について学ぶことは必要不可欠であり、本専攻の教育目標と合致する。

・授業の到達目標 (Aim of Course)

専門領域の研究法を習得し、最先端の研究動向に関する知識を有し、研究成果発表の方法を身に着ける。

■授業内容等

・授業概要 (Course Description)

所属研究室が行うセミナー、ジャーナルクラブ、ミーティング等を通して、専門領域の研究法、最先端の研究動向、研究成果発表の方法について学ぶ。

・キーワード

感性情報学、感性デザイン学、感性人間工学、比較認知科学、行動神経科学、精神機能障害学、システム脳科学、神経分子機能学、脳型情報処理機構学

・授業計画 (Time Table)

所属研究室が行うセミナー、ジャーナルクラブ、ミーティング等の中で、随時必要な専門領域の知識を習得する。

・履修条件 (Prerequisite)

意欲を持って所属研究室が行うセミナー、ジャーナルクラブ、ミーティング等に参加すること。

■成績評価方法

・評価方法

自身の実験データや調査結果、専門領域の論文を適切に発表できるのか。また、他者が発表した内容に関して質問したのか。

・割合

評価方法に記載した内容を総合的に評価する。

・評価基準

自身の実験データや調査結果、専門領域の論文を適切に発表できること。また、他者が発表した内容に関して質問できること。

■受講するにあたって

・教材・参考文献、配布資料等(Reading Materials)

各指導教員から配布される教科書や論文。

・授業外における学習方法

専門領域に関係した教科書や論文を読み、必要な知識や実験・解析手法を習得する。

・受講生に望むこと(Recommended Background)

意欲を持って発表し、積極的に質問すること。

・欠席の場合の措置について

各教員に確認。

・備考